

基本目標Ⅱ 男女のエンパワーメントへの支援

重点課題1 エンパワーメントの機会の確保

| 施策の方向 | 具体的施策 | 施策対象者 | 担当課 | 平成24年度実施内容(数値、改善点、方向性) | 平成25年度目標 | H25機構改革による担当課 |
|--------------------|----------------------------------|-------|----------|--|--|---------------|
| 1、子どもの生きる力を育むための支援 | ①暴力防止プログラム(CAP)による学習機会の提供 | 学校 | 学校教育課 | 小学校15校中7校実施した。 | 平成24年度未実施学校以外への学習機会を提供する。 | |
| | ②性別にとらわれない進路指導の徹底 | 学校 | 学校教育課 | キャリア教育(職場体験)の実施 全中学校実施(3日間)性別にとらわれないこと、生徒の希望を聞き、それに適したまたは近い分野の職種を選び体験できるようにしている。 | 性別にとらわれず職場体験をすることにより、仕事の大切さとともに仕事をする人の思いや願いを知る機会とする。 | |
| 2、男女のエンパワーメントの促進 | ①すべての男女が力を引き出し育むためのエンパワーメント講座の開設 | 市民 | 社会教育課 | 人が育ち合う共育のまちづくりをめざし、地域支援者養成講座、子ども家族のあり方について考える、思春期子育てセミナー等開催した。 | エンパワーメントの要素を持つことを意識化し、幅広い対象となるよう講座、セミナーを開催する。 | |
| | | | 中央公民館 | 教養を高め、生きがいを見つけるため、男女が共に学習する講座を実施した。『橋本市民大学いきいき学園』(毎月1回開催 延べ参加者960名 1年生～3年生 90名)『ふるさと再見市民講座』(毎月1回開催 延べ参加者1,118名)『文学講座』(年10回開催 延べ参加者330名) | ホームページ・市広報等に掲載し、若者を対象とした講座内容について検討する。 | |
| | | | 紀見地区公民館 | 教養や健康などの色々な事業として、『紀見サロン(全6回、131名)』『ヘルスアップ講座(全2回、55名)』『人権講演会(60名)』『郷土料理教室(全2回、35名)』『サークル発表会(230名)』『出前講座=4校交流会(全8回、134名)』『子育て講座(全4回、125名)』など開催し、男女を問わず多数の参加者を得ることができた。 | 教養や健康などの色々な事業に加え、「介護教室」を新たに実施する。 | |
| | | | 紀見北地区公民館 | 生きがい、地域のネットワーク作り、男性の地域参画を目指し、『焼津シャツ作り』『梱包テープかご作り』『マカロンストラップ作り』等。他に『多肉植物の寄せ植え講習会』『生花講習会』『ゆかた着付け講習会』など季節に合わせて事業を実施。60代を中心に男女を問わず多くの参加があった。 | 音楽に親しんだり、外に出て体験できるような事業を実施する。 | |
| | | | 恋野地区公民館 | 高齢者の自立を目指し、大人の遊び塾を新しく開設。遊びの中に学びも取り入れることにより男性の地域参画を促した。 | 地域の特色にあった事業を検討する。 | |
| | | | 学文路地区公民館 | 30周年にあたり、記念事業として世代交流を深めると共に地域文化の再認識を中心とした事業展開を行った。「学文路歴史・文化財巡り」「ふるさとオペラ石童丸物語」「文化祭への学生参加」「いとうまし」「暮らしにハープを」など | 地域密着、各種団体との連携を深める。特に、参加の少ない学生や男性の参加を意識していきたい。 | |
| | | | 隅田地区公民館 | 各事業を企画するため、介護教室実行委員会、乳幼児学級実行委員会をたちあげ、委員による企画運営をしている。『介護施設視察研修』『病院出前講座』『シニア向けリズム講座』『親子夏まつり』や男性参加をよびかけ『みんなで一緒にミニミニ運動会』を企画した。 | 地域における様々な課題に問題意識を持ち解決に取り組めるよう実行委員会の会員を増やす。 | |
| | | | 橋本地区公民館 | 健康に重きを置いた事業を実施。『健康一番体操(全12回、181名)』『ヘルスアップ教室(全6回、159名)』『リフレッシュ講座(50名)』『夏の暑さに負けない体力作りを(30名)』『ピラティス体験教室(全6回、117名)』『うたごえ広場(75名)』『つれもて歩こう(全3回、52名)』『簡単押絵教室(全2回、31名)』『春、秋バス研修(全2回、79名)』『日本の味伝承講座(全6回、111名)』など開催し、男女を問わず多数の参加者を得ることができた。また当公民館では32のサークルが文化・芸術・音楽・健康増進・スポーツなど様々な分野で活動、活躍をしている。 | 健康に重きをおき、より多くの人が参加し、学んでもらえるよう企画する。 | |
| | | | 西部地区公民館 | 男性の地域参画を目指し、「テクテク散歩会」開催。男女ともに多数の方々に参加があり、月に一度橋本市内・市外などを散歩している。 | 「古典に親しむ会」を企画し、昔の人の物の考え方や、自己の教養を高める。 | |
| | | | 高野口地区公民館 | 人権意識向上のため、「RAMOのトーク&ライブ～ 知ろうとするより感じてほしい！手を差し伸べることより寄り添ってほしい～」開催した。 | 幅広く広報をする。講演会「共に生きる～一緒に住みたいまちを創っていきましょう～」、歴史教室「高野口ひすとりのあ」を開設する。 | |

| 施策の方向 | 具体的施策 | 施策対象者 | 担当課 | 平成24年度実施内容(数値、改善点、方向性) | 平成25年度目標 | H25機構改革による担当課 |
|-------------------|---|--------|----------|---|---|---------------|
| 2、男女のエンパワーメントの促進 | ②悪質商法等による消費者被害や多重債務の防止支援 | 市民 | 市民安全課 | ・自主事業(出張出前講座)、委託事業を合わせ約20会場(老人会やふれあいサロン等)で啓発講座を開催した。 ・消費者生活・多重債務の相談窓口を設置した。 | 消費者被害の未然防止のための啓発と多重債務相談のための司法書士会と協定を結ぶ。 | 市民生活環境課 |
| | ③農林業従事者への生産・技術向上のための初心者研修の充実 | 農林業従事者 | 農林振興課 | ・農業研修講座の受講生の募集をした。 ・市民農園の開設をしている。 | ・伊都地域担い手育成補完システム研究会による摘蓄・摘果講習は、HP等による参加者の募集や開催に協力する。 ・市民農園についても、適宜利用者の募集を行う。 | |
| | ④各種職業能力の開発、資格取得、経営能力向上に関する情報の提供及び研修会の実施 | 市民 | 商工観光課 | ・和歌山県工業技術センター活用方法等の相談会を実施した(技術相談等)。 | 各種資格取得試験実施の情報を市ホームページに掲載する。 | |
| | ⑤女性の起業への支援 | 女性市民 | 商工観光課 | ・県の特定の融資制度(新規開業資金)を利用した中小企業者を対象に信用保証料の半分(上限10万円)を補助。制度については、市のホームページでの周知、市広報へ掲載した。(経済団体等で組織された女性部会を通じての取組) ・近畿商工会議所女性会連合会総会記念講演会へ参加した。「創業者の父から学んだこと」 ・他町村女性部との交流を行った。 ・各種イベント(まつせはしもと、紀の川カップ祭り、桜まつり等)への参加をした。・商工女性の経営知識向上の研修会を行った。 | 女性への起業支援を推進していく。 | |
| 3、若者・中高年男性の自立への支援 | ①若者・中高年男性の自立への支援 | 市民 | 関係各課 | (健康課) ・若年者健診(18歳～39歳受診者232人)をとおして健康意識の高揚や健康状態の改善を支援した。 (福祉課) ・ひきこもり支援検討会をたちあげた。 | (健康課) 日曜日の検診を取り入れる。 | |
| 4、高齢者・障がい者の自立への支援 | ①高齢者等の自立に向けての学習会等の開催 | 市民 | いきいき長寿課 | 介護予防事業として、高齢者グループの支援を行った。げんきらりー教室(筋力向上トレーニング自主運営教室、34ヶ所)、ふれあいサロン事業(35ヶ所)への継続的な関わりを行い、介護予防啓発を通して、個々の相談等でしやすい環境づくりを目指した。特にいつまでも元気で地域の中で自立し生活していくためとして、筋力向上トレーニング、認知症予防等について市の取組状況を報告しながら、自らできることを意見交換してもらう機会をつくった。 | 介護予防事業を継続実施し、地域との関わりをひろげる。 | |
| | | | 福祉課 | 各団体に委託して、障がい児者にあつた様々なレクリエーション事業を実施した。(スポーツ、料理教室等)開催回数:46回参加のべ人数:499人 | 開催予定等市広報やホームページへ掲載する。 | |
| | | | 中央公民館 | いつまでも元気に生活できるよう、年10回の講義と運動会、学芸会を開催した。 延べ参加者960名 1年生～3年生 90名。 | OB、在校生からアンケートをとるなどをして、現状の課題等を把握する。 | |
| | | | 紀見地区公民館 | 健康講座の『基礎代謝アップ講座(全2回、55名)』を実施した。サークル活動として高齢者を交えての交流会を行っている【語ろう会】や運動エクササイズの実施した。 | 『男の介護勉強会』と『ノルディックウォーク講座』を開催する。 | |
| | | | 紀見北地区公民館 | 「未来への贈り物」3回シリーズを通して自身の将来を見つめ直し、生きるための力を養ってもらう連続講座を実施した。 | 脳卒中予防やリハビリテーションについての講座を開催する。 | |
| | | | 恋野地区公民館 | 高齢者の居場所づくり 又自立に向けての事業として『大人の遊び塾』『市民病院の健康セミナー』『笑いと健康体操』等を実施した。 | 事業を広く広報する。 | |
| | | | 学文路地区公民館 | 要介護者とならないために、ハイキングを取り入れた事業や体操関連サークルの支援、趣味を生き甲斐として楽しめるような教室「お茶」「編み物」「暮らしの歳時記」などを実施した。 | 健康や生き甲斐作りに留意し、講座や教室を開催する。参加しやすい、また意識しないうちに身につくような事業を考えていきたい。 | |

| 施策の方向 | 具体的施策 | 施策対象者 | 担当課 | 平成24年度実施内容(数値、改善点、方向性) | 平成25年度目標 | H25機構改革による担当課 |
|-------------------|----------------------|--------|----------|---|--|---------------|
| 4、高齢者・障がい者の自立への支援 | ①高齢者等の自立に向けての学習会等の開催 | 市民 | 隅田地区公民館 | 気軽に参加でき、生きがいを見つけ、健康を維持できるよう『料理講習会』『病院健康出前講座』『シニア向けリズム体操』『グラウンドゴルフ大会』を実施した。 | 老若男女を問わず参加できるような内容を取り入れ実施する。 | |
| | | | 橋本地区公民館 | 生涯にわたり学習し、楽しみを見つけ、生きがいにつながる場作りとして、『当麻寺バス研修(25名)』『人権講演会～生きる～(118名)』『高野山ウォーク(全2回、47名)』などを実施した。 | 新たに「認知症」についての講座を実施する。 | |
| | | | 西部地区公民館 | 物事の一部にとらわれず、「生きる」ことの本質を今一度考えてもらうきっかけとなる人権講演会「人生マンダラ」を開催した。 | 継続実施する。 | |
| | | | 高野口地区公民館 | 趣味や生きがいを見つけるための「ビデオカメラ撮り方講座」、また高齢者同士の交流の場として「ミニウォウオーキング」を開催した。 | 趣味などの生きがいを見つけられるよう、「ビデオカメラ撮り方講座」全10回を継続する。 | |
| 5、ひとり親家庭への支援 | ①社会保障制度の拡充の要請 | ひとり親家庭 | こども課 | ・母子自立給付金の活用を図った。 ・窓口相談の強化。 ・福祉課就労支援員と連携を図り、ひとり親の自立を促すための就業支援を行った。 | 母子自立支援員(嘱託職員)を配置し、窓口での相談から、問題解決につなげる。 | |
| | ②給付制度の充実 | ひとり親家庭 | こども課 | 諸制度の普及と啓発を図り、母子家庭の生活の安定を図った。 | 母子自立支援員(嘱託職員)を配置し、窓口での相談から、問題解決につなげる。 | |
| | ③相談体制の充実 | ひとり親家庭 | こども課 | 窓口来庁の際、家庭状況等を聞きとり、必要があれば要保護児童対策地域協議会につなげる等、関係機関との連携もとりながら相談業務をおこなった。(小中学校や幼稚園、保育園、学童保育所などと連携) | 母子自立支援員(嘱託職員)を配置し、窓口での相談から、問題解決につなげる。 | |
| 6、外国人の自立への支援 | ①生活案内パンフレットの作成 | 外国籍市民 | 企画経営室 | 市のホームページをリニューアルし、英語・中国語・韓国語での情報提供が可能となった。 | 現状のホームページでの外国語表記で引き続き対応する。 | |
| | ②相談体制の整備 | 外国籍市民 | 企画経営室 | 和歌山県国際交流センターと連携して、外国人のための「専門家による一日相談会」を開催した。 | 定期的な相談会を実施する。 | |

重点課題2 グループ・ネットワークづくり

| 施策の方向 | 具体的施策 | 施策対象者 | 担当課 | 平成24年度実施内容(数値、改善点、方向性) | 平成25年度目標 | H25機構改革による担当課 |
|--------------------|------------------------------------|--------------|---------------------|---|---|---------------------|
| 1、互いに力を高め合うグループづくり | ①共通の問題・課題を抱える個人のグループづくりや既存グループへの支援 | 市民 | こども課 | 子育て支援センターを4カ所設置することにより、子育てに関する悩みなどを相談出来る仲間づくりに寄与した。 | 新こども園新設に伴い、子育て支援センターを増設する。 | |
| | | | 健康課 | 乳がん患者会発足への相談を支援した。(保健師が患者会に参加) | 団体への相談支援を行う。 | |
| | | | いきいき長寿課(地域包括支援センター) | 介護予防事業として、高齢者グループの支援を行った。げんきらりー教室(筋力向上トレーニング自主運営教室、34ヶ所)、ふれあいサロン事業(35ヶ所)への継続的な関わりを行い、介護予防啓発を通して、個々の相談等できやすい環境づくりを目指した。高齢者にともなう様々な相談窓口の周知、日常的なグループへの訪問等により支援。グループ間の情報交換できる機会の確保。人的、経済的な援助等。特に閉じこもりがちな高齢者をいかに外に出ることができるようにするか、また、その現状等についてともに考える機会を作った。 | 継続実施する。 | いきいき長寿課(地域包括支援センター) |
| | | | 福祉課 | 独自活動していたひきこもり支援団体に対し、行政も団体活動費の補助や個別ケース会議への参加等で関わるようになった。市でもひきこもり支援検討会議をたちあげた。 | 相談窓口等についてホームページへ掲載する。 | |
| 2、支援ネットワークづくり | ①支援する人材や市民活動団体等のネットワークづくり | 市民 NPO団体等 | 市民安全課 | 市民活動サポートセンターを開設した。 | 橋本市社会福祉協議会へ市民活動サポートセンターの運営管理委託を行うとともに施設の存在周知に努める。 | 市民生活環境課 |

重点課題3 エンパワーメントにつなぐ相談窓口・情報提供の充実

| 施策の方向 | 具体的施策 | 施策対象者 | 担当課 | 平成24年度実施内容(数値、改善点、方向性) | 平成25年度目標 | H25機構改革による担当課 |
|----------------|-------------------|-------|------|-----------------------------|-----------------------------------|---------------|
| 1、相談窓口・情報提供の充実 | ①女性のための相談窓口の整備・充実 | 女性市民 | 関係各課 | 各課での相談窓口はあるが、窓口の一本化は行っていない。 | 担当各課と連携をとり、市民にわかりやすく周知する(HP、広報等)。 | |
| | ②各種相談窓口の充実と連携 | 市民 | 関係各課 | 各課で相談をうけている。 | 担当各課と連携をとり、市民にわかりやすく周知する(HP、広報等)。 | |